

令和6年度全国中学校体育大会
第55回全国中学校柔道大会

監 督 会 議



令和6年度全国中学校体育大会スローガン

「君の憧れ 君の努力 その全てを北信越に」

◇ 日 時： 令和6年8月20日（火） 10:30～11:00

◇ 場 所： 長野県立武道館1F剣道場（畳スペース）

令和6年度全国中学校体育大会
第55回全国中学校柔道大会

監督会議次第

進行 長野県実行委員会総務部 堀内 翼

次 第

- | | | | |
|---|--------|-----------------------------|-----------|
| 1 | 開会のことば | 長野県中学校体育連盟柔道専門部委員長 | 安田 忠久 |
| 2 | 挨拶 | (公財)日本中学校体育連盟常務理事 | 後藤 建人 |
| | | (公財)日本中学校体育連盟柔道競技部長 | 神谷 兼正 |
| 3 | 競技上の注意 | 大会審判長 | 高橋 健司 |
| | | (1) 第55回全国中学校柔道大会の審判申し合わせ事項 | |
| | | (2) 協議(質疑応答) | |
| 4 | 諸連絡 | 長野県実行委員会 | 競技部 涌井 孝治 |
| | | | 総務部 源城 拓 |
| | | | 式典係 白根 秀一 |
| | | 大塚製薬株式会社 | |
| | | (株)近畿日本ツーリスト長野支店 | 新藤 雅也 |
| 5 | 閉会のことば | 長野県中学校体育連盟柔道専門部委員長 | 安田 忠久 |

会議・大会日程

8月19日(月)	時間	場所
○全国委員長会議 ○講道館中学校柔道指導者講習会Ⅰ	12:30~14:50 15:00~17:30	長野県立武道館ⅠF剣道場
○女子団体計量 ※ブロックごとの時間設定	11:00~15:00	佐久市総合体育館

8月20日(火)	時間	場所
○講道館中学校柔道指導者講習会Ⅱ(審判講習会)	8:30~9:30	長野県立武道館ⅠF剣道場
○審判会議	9:45~10:15	
○監督会議	10:30~11:00	
○開会式	12:00~12:10	長野県立武道館主道場
○競技(女子団体)	12:30~17:00	
○表彰式	17:15~17:30	
○男子団体計量 ※ブロックごとに時間設定	8:00~14:00	佐久市総合体育館

8月21日(水)	時間	場所
○審判員打合せ	8:50~9:10	長野県立武道館ⅠF大会議室
○競技(男子団体)	9:30~16:30	長野県立武道館主道場
○表彰式	16:45~17:00	
○女子個人計量 ※ブロックごとに時間設定	8:00~14:00	佐久市総合体育館

8月22日(木)	時間	場所
○審判員打合せ	8:50~9:10	長野県立武道館ⅠF大会議室
○競技(女子個人)	9:30~17:30	長野県立武道館主道場
○表彰式	17:30~17:45	
○男子個人計量 ※ブロックごとに時間設定	8:00~14:00	佐久市総合体育館

8月23日(金)	時間	場所
○審判員打合せ	8:50~9:10	長野県立武道館ⅠF大会議室
○競技(男子個人)	9:30~17:30	長野県立武道館主道場
○表彰式・閉会式	17:30~17:45	

1. 本大会の試合審判規程、競技規則について（第55回全国中学校柔道大会 長野大会）

- (1) 国際柔道連盟試合審判規程及び国内における「少年大会特別規程」（2024年4月1日から施行）を適用する。
- (2) 団体戦においては、全柔連より平成30年2月3日に発出、4月1日より運用された「国際柔道連盟試合審判規程の団体戦への全柔連導入について」を適用する。
- (3) 試合時間は、団体戦、個人戦ともに3分間とする。ただし、延長戦（ゴールデンスコア）は時間制限を設けない。
- (4) 勝敗の決定基準は、（公財）日本中学校体育連盟柔道競技部より令和4年2月7日に発出された「第53回全国中学校柔道大会における競技規則の一部改正について（お願い）」（別紙参照）を適用し、以下の通りとする。

- ① 個人戦の勝敗については、団体戦の個々の試合と同じように、本戦において技による得点差がなく、「指導」差2で試合が終了した場合は、僅差による「優勢勝ち」として勝敗を決する。
- ② 得点差がなく、「指導」差1以内の場合は、時間無制限、ゴールデンスコア（GS）による延長戦を行う。GSについては、改正ルールを適用せず、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点でその選手が負けとなる。

2. 本大会の申し合わせ事項

- (1) 立ち姿勢において後ろ襟を握ることを認める。
- (2) 試合中において危険な状態と審判員が判断した場合は、早めに「待て」とする場合がある。
- (3) 試合中において受傷し、試合続行に支障をきたす（重大な事故をさらに誘発する危険性の回避）と大会本部が判断した場合は、試合を終了させる場合がある。
- (4) 試合に臨むチームや選手の呼び出しについては以下の通りとする。

チーム、選手の呼び出しにあたっては次の通り対応する。試合場内の呼び出しで登場しない場合、場内放送で1回目の呼び出しを行う。その後、1分間隔で2回呼び出しの場内放送を行うが、合計3回目終了時に登場しない場合は「失格」とする。失格となった場合、一連の試合に出場できない。

- (5) 試合中（「待て」から「始め」の間を除く）の発声について、監督・コーチはベンチからの大声での指示や指導、声援を禁止する（審判員には注意と退場の権限を与える）。
- (6) 柔道並びにスポーツ精神に反する反則負け、直接的反則負けについては、その後の試合には出場できないが、例外として、ヘッドダイビング、ヘッドディフェンスによる反則負けになっても、その後の一連の試合に出場できることとする。直接反則負けにより、一連の試合に出場できなくなった選手がいた場合、当試合の主審が大会本部まで、当チーム、当選手、内容を伝える。一連の試合とは、団体戦と個人戦は別とする。
- (7) GS時の抑え込みについて、個人戦は10秒技あり「それまで」、団体戦での代表戦の抑え込みは20秒まで見ることとする。
- (8) その他、（公財）日本中学校体育連盟柔道競技部及び、（公財）全日本柔道連盟審判委員会からの通達を適用する。
- (9) 競技中において生じた不測の事態（特に定められていない事項）については、大会本部で協議し決定する。

3. 審判業務について

- (1) 各試合場の審判主任は、事故係として対応をお願いします。相談や確認がある場合は、各試合場の試合場係担当者までお申し出ください。
- (2) 中体連審判員は自分の都道府県の試合審判は行わないことを原則としますが、試合進行上やむを得ない場合は副審または審判委員を行うことがあります（各会場の審判員で対応してください）。
- (3) 試合中の出血等による軽微な負傷については副審が救護の医師または柔道整復師のところへ選手と同行し処置を見守る。脳しんとうの疑いがある場合は、おやみに動かさず、医師と対応してください。
- (4) 攻防や場内外の見極め、反則の有無、中学生適用の少年大会特別規程等について試合中、副審は常に合議を行い、スコアや罰則等があった時はインカムを通してタイミングよく主審に伝えてください。インカムの言葉は短く端的に分かるようにお願いします。審判委員はその試合場の審判長で誤った判定を防ぐ最後の砦です。何かあった時は、確認をお願いします。
- (5) 試合において、審判長および審判委員が適正介入することがありますのでご理解ください。
- (6) (公財)日本中学校体育連盟柔道競技部より平成31年4月13日に発出された「試合における礼法指導及び柔道衣の正しい着装の徹底について」に則り、選手の礼法はしっかりと正しく行わせてください。

<主審の礼法管理義務>

試合場外での立礼の管理義務はないが奨励されている。両選手が揃ったら両手で示唆し、試合場内に歩み足で進ませる。試合開始線（畳二間分の内側に貼られた識別テープ）を踏まない位置につま先を合わせさせ、相手選手と正対するまで「気をつけ」の姿勢で静止させる。正対後の互いの礼は、同時に一呼吸4呼間のタイミングで体側にある両手を大腿前方にすべらせながら正しい立礼を行わせる。左前右後の原則にしたがって左足、右足と前方に踏み出したら自然本体で止まらせる。手をあげたり構えたりする臨戦態勢は認めない。正しい所作で2秒程度静止させた後、「はじめ」を宣言する。

国内における「少年大会特別規程」

国内における少年（中学生以下）の試合は、国際柔道連盟試合審判規程に則って行われるが、安全面を考慮し、次の条項を加えて行うものとする。

第17条（抑え込み）

附則として次を加える

寝技の攻撃・防御において、脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断したときは「待て」とする。

第18条 禁止事項と罰則

指導（軽微な違反）

1. 立ち姿勢で相手の後ろ襟、背部又は帯を握ること。
ただし、技を施すため、瞬間的（1, 2秒程度）に握ることを認める。
（注）中学生は、試合者の程度に応じて、後ろ襟を握ることを認める。
2. 両膝を最初から同時に畳について背負投等を施すこと。
3. 関節技及び絞技を用いること。
4. 無理な巻き込み技を施すこと。
5. 相手の頸を抱えて大外刈、払腰などを施すこと。
6. 小学生以下が、裏投を施すこと。
7. 「逆背負投」（通称）の様な技を施すこと。
8. 両袖を持って投げ技を施すこと。

反則負け（重大な違反）

1. 攻撃・防御において、故意に相手の関節を極めること。

（附則）

指導（軽微な違反）

1. 「相手の後ろ襟、背部又は帯を握ること」関係
 - ①「後ろ襟」とは、柔道衣を正しく着用したときの頸の後ろ側（うなじあたり）の範囲をいう。試合者の一方が後ろ襟を握った後、その襟を引き下げて側頸部にずらした場合でも「後ろ襟」とみなす。
 - ②「背部を握る」の範囲は、目安として肩の中心線に手首がかかるような状態をいう。背部を握った後、柔道衣をたぐりよせて釣り手の一部の指が後ろ襟の内側を握る状態になっても背部とみなす。特例として「後ろ襟、又は背部を握った」状態で、通称ケンケン内股等（内股に限らずケンケンとなる大内刈や大外刈等）をかけることは、〔瞬間的（1, 2秒程度）〕の事項を適用せず、また、その後、連絡した技や変化した技についても、技の効果が途切れるまで継続を認める。
2. 「両膝を最初から同時に畳について背負投等を施すこと。」関係
両膝を最初から畳につくとは、膝の外側部、内側部も含む。同時はもちろん、ほとんど同時と見なされる場合も含む。技が崩れた結果である場合は反則としない。
3. 「関節技及び絞技を用いること。」関係
 - ①寝技の攻撃・防御において、脚を交差して相手を制しているだけの状態は、三角絞とはみなさない。抑え込もうと脚を交差して相手を制止した後、絞まっている状態あるいは脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断した場合は、受傷を防ぐために、早めに「待て」とする。また、通称「三角固」の体勢となった時点で、危険な状態ではないと判断しても、交差している脚を直ちに解かなければ「待て」とする。交差していた脚を直ちに解けば、寝技の攻撃・防御は継続となる。
 - ②故意ではなかったが、絞技および関節が極まった場合は、「待て」とする。

4. 〔無理な巻き込み技を施すこと。〕 関係

「無理な巻き込み」とは、軸足のバネを利かすことなく、体を利用して倒れ込むようにして巻き込んだ技をいう。技が崩れた結果である場合は反則としない。

5. 〔相手の頸を抱えて施す大外刈、払腰などを施すこと。〕 関係

「相手の頸を抱えて施す大外刈、払腰等」とは、明らかに腕を相手の頸に巻きつけて施した場合のみをいう。

7. 〔「逆背負投」（通称）の様な技を施すこと。〕 関係

例えば一方の試合者が右組み、他方の試合者が左組みの体勢から、右組みの試合者が、正しく組んだ釣り手側の前襟を両手で握りながら、右足前回り捌き又は、左足後回り捌きで技を施し、相手を左方向に一回転させながら捻りを加えて、背中、又は頭から投げ落とす様な技をいう。但し、背負投を施して、相手が技を防御するために反対の肩越しに落ちた場合は含まない。

8. 〔両袖を持って投げ技を施すこと。〕 関係

相手の両袖を左右それぞれの手で持ったまま袖釣込腰、大外刈、外巻込等の技を施した場合をいう。但し、相手の片袖を持って、相手に自身の片袖を持たせたまま内股等の技を施した場合は含まない。

改廃

本規程の改廃は、審判委員会において協議し、理事会の承認を得て行う。

付則

この申し合わせは、平成22年5月1日から実施する。

この申し合わせは、平成23年6月14日から部分変更して施行する。

この申し合わせは、平成27年3月31日から改正し、平成27年6月1日から施行する。

この申し合わせは、平成27年11月30日から申し合わせを特別規定として改正し、施行する。

この特別規定は、平成30年3月1日から改正し、平成30年4月1日から施行する。

この特別規定は、令和3年3月15日から特別規程と改正し、施行する。

この特別規程は、2022年1月24日から改正し、2022年4月1日から施行する。

この特別規程は、2023年12月8日から改正し、2024年4月1日から施行する。

平成30年4月6日

(公財) 日本中学校体育連盟
柔道競技部 各ブロック長様
都道府県中学校体育連盟
柔道競技部委員長(部長)様
関係者各位

(公財) 日本中学校体育連盟柔道競技部
競技部長 高橋健司

第49回全国中学校柔道大会の審判規定ならびに個人戦の勝敗決定方法について(周知)

新学期を迎え、校務多忙の毎日が続きますが、平素より中学校柔道の普及発展にご尽力いただき、まことにありがとうございます。

(公財) 日本中学校体育連盟(以下日本中体連)傘下の各大会においては、昨年4月1日より導入された国際柔道連試合審判規定(以下IJF規定)2017~2020改正ルール及び国内における「少年大会特別規定」(以下「少年規定」)を適用して大会を運営されてきたことと存じます。

平成30年4月1日より(公財)全日本柔道連盟(以下全柔連)が主催する大会においては、新たに発出されたIJF規定改正ルール及び少年規定を適用することとなりました。標記大会は中体連と全柔連による共催のため、平成30年4月1日施行の規定を本年度の第49回大会より適用します。各団体に周知のほどお願い申し上げます。規定の詳細は「両袖を持って施す投げ技の禁止」と併せて、全柔連HPをご参照ください。

中学生の試合については、体力面や健康面において最大の配慮をもって大会を運営する旨を中体連本部より指導されています。今回のIJF改正ルールでは「技あり、合わせて一本」が復活し、選手の疲労や大会終了時間の超過、競技補助役員(生徒)の負担など、昨年来危惧された事案が緩和されると予想されます。アスリートとして全国中学校柔道大会(以下全中大会)出場を果たす選手はそれ相当の力量を有しているとは思われますが、発育発達段階である中学生です。上位進出によって生ずる体力的、精神的疲労への配慮及び延長戦ルールによって長くなる試合時間の短縮化を図るために中体連柔道競技部会で検討し、「全中大会申し合わせ事項」として以下のように決定しました。

個人戦の勝敗については、団体戦の個々の試合と同じように、本戦において技による得点差がなく、「指導」差2で試合が終了した場合は、僅差による「優勢勝ち」として勝敗を決する。「指導」差1以内の場合は、時間無制限、GSによる延長戦を行う。

GSについては改正ルールを適用せず、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点でその選手が負けとなる。(本年3月まで適用していた内容で試合を終了する。)

日本中体連、共催団体である全柔連には昨年度に要望し、各種会議を経てすでにご理解、ご承認をいただきました。

上記の経緯により、大会運営の適正化を図ることを目的として標記大会においては、上記の勝敗決定方法としますので併せて周知の程よろしくお願い致します。

以上

関係各位

公益財団法人全日本柔道連盟
審判委員会委員長 大迫 明伸
(公印省略)

柔道衣の乱れに対する新たな罰則（指導）の施行について

国際柔道連盟では 2019 年 3 月 8～10 日に開催された、グランプリマラケシュ大会（モロッコ）より柔道衣の乱れに対する罰則を新たに導入しました。

今年開催される世界選手権東京大会、2020 年東京オリンピック柔道競技でもこの罰則が適用される為、日本国内でも早急に適用する必要があります。

別紙全柔連主催大会では 4 月よりこの罰則を導入しますが、各主催団体におきましては、施行期間に猶予を設ける等、導入時期を検討して頂きますよう、お願いいたします。

記

・新罰則（指導）の内容

試合中に柔道衣が乱れ、帯より外に上衣の裾（背部を含む）が出た場合、主審の「待て」から「始め」の間に、選手自ら素早く服装を直すこと。

主審が「待て」を掛けても、乱れた柔道衣を直そうとせず、放置し乱れたまま「始め」を待っている時に、主審より柔道衣を直すよう指示された場合、これを 1 回目とカウントし、2 回目以降はその都度「指導」が与えられる。

合わせて帯も、本人が緩く結ぶことが原因で解け、自ら固く結び直さず主審から指示された場合もカウントの対象となる。

選手は「待て」から「始め」までの間に、自ら素早く服装を直し、帯を固く締めなければならない。

但し、積極的な試合展開で、例えば柔道衣の上衣がすっぽり脱げた場合に服装を直す指示を主審が行ってもカウントされない。

あくまでも、場外や寝技の停滞などで「待て」が掛かった場合、選手が柔道衣の乱れを放置し、主審から指示された場合にカウントされる。

「待て」の後、選手が自ら柔道衣を直そうとする場合、「髪の手直し」と同じく少し猶予を与える。

帯を解いて服装を直す場合は、従来通り主審の指示・許可がなければならない。

※背部の裾の長さが臀部を覆っていない、体幹部が細く胸元の合わせ目が浅い等は、柔道衣の乱れやすさの一因である。上記罰則を導入するにあたり、柔道衣コントロールをより厳密に行う様に徹底して頂きたい。

【問い合わせ先】

公益財団法人全日本柔道連盟

大会事業課

電 話 03-3818-4392

メール shinpan@judo.or.jp

以上

平成31年4月13日

(公財)日本中学校体育連盟
柔道競技部ブロック長様
都道府県中学校体育連盟
柔道競技部委員長(部長)様
関係者各位

(公財)日本中学校体育連盟柔道競技部
競技部長 高橋健司
(公印省略)

試合における礼法指導及び柔道衣の正しい着装の徹底について(通知)

平素より中学校柔道の普及発展にご尽力いただき、まことにありがとうございます。

(公財)日本中学校体育連盟柔道競技部(以下日本中体連)傘下の各大会において、正しい礼法の指導について指導者の方々のご尽力により、その定着が進んでいることと推察致します。

日本中体連の取組が(公財)全日本柔道連盟(以下全柔連)理事会、評議員会、全国代表者会議の場において紹介され、評価をいただいております。引き続き以下の内容につきまして、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

講道館柔道「礼法」の趣旨は以下の通りです。

礼は、人と交わることに当たり、まずその人格を尊重し、これに敬意を表することに発し、人と人との交際をととのえ、社会秩序を保つ道であり、礼法は、この精神をあらわす作法である。精力善用・自他共栄の道を学ぶ柔道人は、内に礼の精神を深め、外に礼法を正しく守ることが肝要である。

日本中体連傘下の各種大会では、以下の内容の通り、所作や動作の適用をお願い致します。

<選手の礼法義務>

試合場外での立礼の義務はないが奨励されている。主審の合図で試合場内に歩み足で進み、試合開始線(畳二間分の内側に貼られた識別テープ)を踏まない位置につま先を合わせ、「気をつけ」の姿勢で静止、相手選手と正対するまで間合いを取る。正対後、同時に一呼吸4呼吸間のタイミングで体側にある両手を太腿前方にすべらせながら正しい立礼を行う。左前右後の原則にしたがって左足、右足と前方に踏み出したら自然本体で止まる。手をあげたり構えたりする臨戦態勢はとらない。正しい所作と2秒程度静止を確認した主審の「はじめ」の宣言で試合に臨む。

<主審の礼法管理義務>

試合場外での立礼の管理義務はないが奨励されている。両選手が揃ったら両手で示唆し、試合場内に歩み足で進ませる。試合開始線(畳二間分の内側に貼られた識別テープ)を踏まない位置につま先を合わせさせ、相手選手と正対するまで「気をつけ」の姿勢で静止させる。正対後の互いの礼は、同時に一呼吸4呼吸間のタイミングで体側にある両手を太腿前方にすべらせながら正しい立礼を行わせる。左前右後の原則にしたがって左足、右足と前方に踏み出したら自然本体で止まらせる。手をあげたり構えたりする臨戦態勢は認めない。正しい所作で2秒程度静止させた後、「はじめ」を宣言する。

平成31年3月26日付で全柔連より「柔道衣の乱れに対する新たな罰則(指導)の施行について」が発出されました。すでに日本中体連4月1日付「第50回全国中学校柔道大会兵庫大会における審判規定の適用及び女子選手の帯の取り扱いについて」においてお知らせしたところですが、正しい着装に関して指導の徹底をお願いいたします。着装にあたり、帯のゆるみや臀部を覆っていない上衣など、試合において公平さに欠けると判断されれば、罰則や柔道衣不適格が適用されることがあります。柔道衣検査に関して、適正な対応をお願いいたします。

将来の日本柔道の基盤を確実に築くために、小中学生より正しい礼法及び正しい着装を励行することは重要です。周知の程よろしくお願い致します。

以上

(公財) 日本中学校体育連盟
柔道競技部ブロック長様
都道府県中学校体育連盟
柔道競技部委員長(部長)様
関係者各位

(公財) 日本中学校体育連盟柔道競技部

部長 高橋 健司

第52回全国中学校柔道大会群馬大会における競技規則、競技方法、審判規程の適用について(通知)

平素より中学校柔道の普及発展にご尽力いただき、まことにありがとうございます。

(公財) 日本中学校体育連盟柔道競技部(以下中体連柔道競技部)傘下の各大会や平素の指導において、「正しい柔道」の在り方についてご理解をいただき、皆様のご尽力により、その定着が進んでいることに深く感謝申し上げます。

競技においては、(公財) 全日本柔道連盟(以下、全柔連)より平成30年9月に発出された「国際柔道連盟試合審判規定 2018-2020」及び全柔連が定めている国内における「少年大会特別規程」(以下「少年規程」)、「日本中体連柔道競技部主催大会申し合わせ事項」を適用して競技を運営しているところです。(※ 全柔連は規定している事項を体系的に管理し、業務運営の適正化とガバナンスの強化を図ることを目的として令和2年度に「規程類管理規程」を制定しました。今までの各種規定について名称変更規程をしたことを付記しておきます。)

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、第51回全国中学校柔道大会(以下、全中大会)静岡大会はじめ、各種柔道大会が中止となりました。ご尽力いただいた静岡県関係者の方々、そして目標をもって練習に励んでいた全国の柔道部員たちの悲しみと苦しみ、当時の3年部員がみせた涙が、今でも忘れられません。本日から東京都は4度目、沖縄県は引き続きの緊急事態宣言が講じられる現状ですが、延期となっていた第32回オリンピック・パラリンピック競技東京大会柔道競技も、まもなく開催を迎えるまでに至りました。柔道関係者にとって、開催が追い風になることを期待してやみません。

スポーツ庁より令和3年7月9日付「中学生・高校生等を対象とした全国大会・コンクール等における生徒の成果発表の機会の確保等に係る取組について(依頼)」が発出されました。昨年度の様々な「学び」から、やるべきことを肅々と進めてまいりますが、コロナ対策に万全を期し、正しく判断して事業を進めていくことが肝要なのは言うまでもありません。

全中大会の予選となる各都道府県大会が始まりました。中体連柔道競技部より、以前に発出しました下記通知(周知)文書の内容は、本全中大会におきましてもすべて適用となります。

平成30(2018)年4月6日付

「第49回全国中学校柔道大会の審判規定ならびに個人戦の勝敗決定方法について(周知)」

平成31(2019)年4月1日付

「第50回全国中学校柔道大会兵庫大会における審判規定の適用及び女子選手の帯の取り扱いについて(通知)」

平成31(2019)年4月13日付

「試合における礼法指導及び柔道衣の正しい着装の徹底について(通知)」

令和2(2020)年4月1日付

「第51回全国中学校柔道大会静岡大会における審判規定の適用及びいわゆる「絞め落ち」に関する取り扱いについて(通知)」

柔道は、競技特性として「濃厚接触競技」であることに間違いはありません。中体連柔道競技部は長年に渡り、様々な角度からご指摘ご助言をいただき、暴力根絶、コンプライアンス等、組織を挙げて確固たる対策を講じております。格闘競技であることを認識し、内在する教育効果を最大限活かしながら、特に健康、安全については最優先とした指導、競技運営を図っております。今後ともご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

以上

(公財)日本中学校体育連盟
柔道競技部ブロック長様
都道府県中学校体育連盟
柔道競技部委員長(部長)様
関係者各位

(公財)日本中学校体育連盟柔道競技部
部長 高橋健司

第53回全国中学校柔道大会福島大会における審判規程の適用及び柔道衣規格について(通知)

平素より中学校柔道の普及発展にご尽力いただき、まことにありがとうございます。
(公財)日本中学校体育連盟柔道競技部(以下中体連柔道競技部)傘下の各大会や平素の指導において、「正しい柔道」の在り方についてご理解、ご協力をいただき、その定着が進んでいることに深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、昨年度は第52回全国中学校柔道大会(以下、全中大会)群馬大会はじめ、各ブロック大会、都道府県大会を開催することができました。これもひとえに、関係各位の並々ならぬご尽力とご努力があったからこそと心より御礼申し上げます。

競技においては、(公財)全日本柔道連盟(以下、全柔連)より平成30年9月に発出された「国際柔道連盟試合審判規定2018-2020」(以下、IJF規程)及び全柔連が定めている国内における「少年大会特別規程」(以下「少年規程」)、「日本中体連柔道競技部主催大会申し合わせ事項」を適用して競技を運営してまいりました。令和3年12月、国際柔道連盟より「IJF規程」改正の公表があり、IJF主催大会においては令和4年1月より施行され、改正された規程が適用されています。国内においては、令和4年4月1日以降の全柔連主催大会で適用されることになりました。また、「少年規程」についても中学生の絞め技を禁止とすることが全柔連理事会で決定し、改正されました。絞め技によっていわゆる「絞め落ち」となった選手の精神的、肉体的なダメージが懸念されること、発育発達段階における事故防止の観点や柔道のマイナスイメージを払拭するためとの見解です。1977(昭和52)年度第8回全国中学生(校)柔道大会より、絞め技が認められるようになってから40余年あまり、問題視されるような大きな事故や事案報告は受けていなかったこともあり、中体連としては絞め技の引き続き適用の意向を申し伝えましたが、上記の結果となりました。全中大会は全柔連との共催事業なので、したがって本年度の全中福島大会は、改正された「IJF規程」及び「少年規程」を適用いたします。また、柔道衣の規格についても、相手に不利益が生じないよう厳格な柔道衣検査が行われています。全中大会は認証柔道衣の着用が義務付けられています。現行適用規格から改正となった場合、2年間の猶予措置を全柔連にお願いしています。今後の動向を注視していただき、適正な規格柔道衣を準備するよう関係各位にお伝えください。

中体連柔道競技部より、以前に発出しました下記通知(周知)文書の内容は、本全中大会におきましてもすべて適用となります。

平成30(2018)年4月6日付

「第49回全国中学校柔道大会の審判規定ならびに個人戦の勝敗決定方法について(周知)」

平成31(2019)年4月1日付

「第50回全国中学校柔道大会兵庫大会における審判規定の適用及び女子選手の帯の取り扱いについて(通知)」

平成31(2019)年4月13日付

「試合における礼法指導及び柔道衣の正しい着装の徹底について(通知)」

中体連柔道競技部は長年に渡り、様々な角度からご指摘ご助言をいただき、暴力根絶、コンプライアンス等、組織を挙げて確固たる対策を講じております。格闘競技であることを認識し、内在する教育効果を最大限活かしながら、健康、安全を最優先とした指導、競技運営を図っております。競技特性として柔道は「濃厚接触競技」であることに間違いはありません。コロナ対策については昨年度に引き続き、万全を整えて取り組んでいく所存です。今後ともご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

以上

関係各位

公益財団法人全日本柔道連盟
審判委員会委員長 大迫明伸
(公 印 省 略)

国際柔道連盟試合審判規程の解釈変更に伴う国内大会への適用について

2023 年 3 月 25 日に国際柔道連盟より審判規程の解釈変更が発表され、先般開催された 2023 年カタール・ドーハ世界柔道選手権大会でも適用されたことにより、日本国内でも早急に適用する必要があります。

本連盟主催大会では、2023 年 6 月 1 日よりこれを導入しますが、各主催団体におきましては、施行期間に猶予を設ける等、導入時期を検討して頂きますよう、お願いいたします。

記

1 変更された主な内容

① 技ありの判断基準について

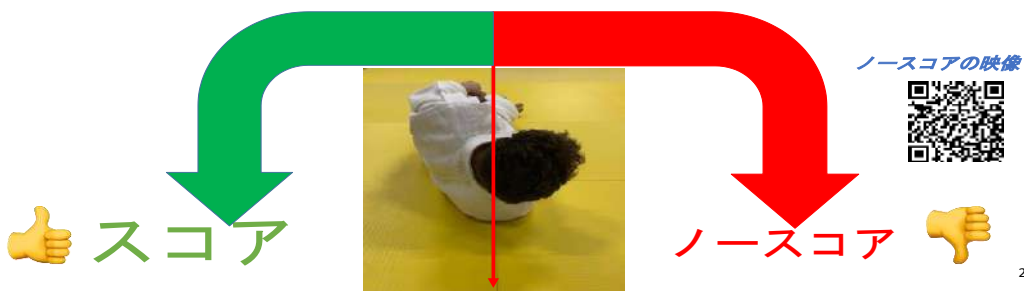
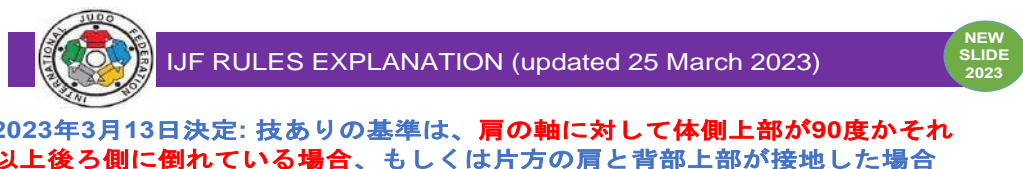
・ 変更前

技ありの基準は、**体側全体が 90 度以上背中側**、もしくは片方の肩と背中上部が接地した場合とする。
体側全体は、腰と肩のポジションをみること。

・ 変更後

技ありの基準は、**肩の軸に対して体側上部が 90 度かそれ以上後ろ側に倒れている場合**、もしくは片方の肩と背部上部が接地した場合とする。

体側上部は、**肩のポジションのみ**をみること。(下記の国際柔道連盟資料参照)



② GS時における「抑え込み」の扱いについて (IJF が世界選手権ドーハ大会後に発表)

・ 変更前

寝技において、「抑え込み」の場合、**選手自身が解かない限り 20 秒 (一本) まで継続**される。ただし、途中で抑え込まれている試合者が絞め技・関節技を施し、「参った」または「落ちた」場合、時間に関わらず逆転を認め、抑え込まれている試合者が勝利となる。

・ 変更後

寝技において、「抑え込み」の場合、**10 秒が経過した時点 (時計係はブザーを鳴らす) で「技あり、それまで」が宣告**される。※各大会においては、時計の設定および係員への周知をお願いいたします。ただし、時計の設定等の理由により運用できない場合は、上記に記載の通り施行期間に猶予を設ける等の対応をお願いします。

以上

令和5年6月13日

柔道競技部ブロック長様

(公財) 日本中学校体育連盟柔道競技部
競技部長 神谷 兼正
(公印省略)

第54回全国中学校柔道大会における競技規則の申し合わせ事項について

拝啓 時下益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

先般のオンラインによるブロック長連絡会においても、各ブロック長との意見交換を行い今年度の徳島全中に向けての共通理解を図る事ができたと思います。

さて、連絡会の中で議題となった競技規則について、みなさまのご意見も踏まえて下記の通りにまとめてみました。今後、各都道府県で予選会が行われる事としますので一読され、各ブロック専門委員長に連絡をお願いいたします。

競技方法⑦カにおいて

- ・オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する。(3チーム同等の場合は、リーグ戦方式による代表戦を行う。代表戦は、試合ごとに任意の選手を1名選出する。試合方法は個人戦の競技規則とする。)

細則

- ・代表戦による試合順は本戦同様に行う。
- ・リーグ戦による優劣の成り立ちは次の通りとする。
本戦「①一本」 = 「①反則勝ち」 > 「②技あり」 > 「③僅差」
GS「④一本」 = 「④反則負け」 > 「⑤技あり」 > 「⑥新たな指導差がついた時点」
- ・6月1日全柔連発の「国際柔道連盟試合審判規定の解釈に伴う国内大会への適用について」②GS時における「抑え込み」の扱いについては、代表戦の場合は変更前のルールを適用する。したがって、選手自身が解かない限り20秒(一本)まで継続される。

敬具

試合場におけるコーチの振る舞いについて

(公財) 全日本柔道連盟

コーチの場所

原則として、各試合場の正面と反対側、あるいは試合場の横側に、赤・白の選手にコーチ1名が座れる椅子を設置する。

ただし、伝統的にコーチ席を設けていない大会（全日本選手権大会など）においては、主催者の判断による。

コーチの役割

- ① コーチは、選手への様々な状況における指示、戦術的なアドバイス、怪我の対応など、選手とのコミュニケーションを取ることを目的とする。
- ② コーチは、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持つ。

コーチの言動

- ① 大会が発行するコーチIDを必ず付けていなければならない。
- ② 次の行為を禁止する。
 - ・ 試合中に立ち上がること
 - ・ 審判員に対し、コメントや批判をすること
 - ・ 審判員の決定に訂正を要求すること
 - ・ 審判員、役員、一般客に対し、悪態をつくこと
 - ・ 広告やその他の機器に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること
 - ・ 対戦相手（コーチ）、審判員、役員、一般客、及び自分自身の選手を侮辱するような行為
 - ・ その他、柔道精神に反する行為

コーチの服装

原則として、審判員に準じた服装とする。

罰則

上記に違反した場合、1回目は口頭による注意で、2回目に違反した場合はその選手のコーチ席は没収され、そのコーチは大会期間中、他の選手のコーチにつくことも禁止する。

競技部より

1. 競技細則について

<本大会要項より 12 競技規則、13 競技方法、14 計量・柔道衣点検より抜粋>

【12 競技規則】大会要項参照

国際柔道連盟試合審判規程および国内における「少年大会特別規程」(2024年4月1日より施行)による。

【13 競技方法】大会要項参照

(1) 団体戦

- ④試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ⑤勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」以上又は「僅差(「指導」の差2以上)」とする。
- ⑥優劣の成り立ちは以下の通りとする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技あり」 > 「僅差」

(2) 個人戦

- ②試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ③勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」以上又は「僅差(「指導」の差2以上)」とする。得点差がない場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦(ゴールデンスコア)で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。

【14 計量・柔道衣点検】大会要項参照

(1) 計量は、佐久市総合体育館小体育室で行う。

(2) 団体戦計量については必ず監督またはIDが発行されているコーチが立ち会うこと。個人戦計量については、監督・コーチは計量会場には入れない。

(3) 公式計量の服装については、以下の通りとする。

団体戦： 男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きとする。

個人戦： 団体戦と同様、又は下穿きの代わりに下着又はスパッツの着用を認める。

(4) 別室計量希望者については、公式計量前に競技役員(計量係)に申し出て、別室にて計量を受けることができる。

(5) 【柔道衣点検】

- ①(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。(上衣・下穿きは新規格の赤色のマーキングのもの)
- ②柔道衣に必ずゼッケン(チーム名・苗字入り)を縫い付けて出場すること。
- ③女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。

※Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規程(平成25年4月1日より施行)に準ずる。

- ④試合当日は、待機席への入場前に係員が目視にて柔道衣点検およびIJFマークの確認を行う。
なお、試合途中、審判員により疑義が生じた場合は、各試合場において審判員が計測器を用いて

総務部より

1. IDについて

(1) 選手・監督・コーチは、IDを常に提示できるようにしてください。

試合会場（主道場1階）に入場できるのは当該日のID保持者のみです。

※IDは必ず首から下げてチェックを受けてください。

※会場から出るときは必ずIDを所持してください。

(2) IDは大会期間中、紛失することがないようにお願いします。

2. 県立武道館、佐久市総合体育館の使用について

(1) ゴミについては、各自持ち帰りになっております。旅行業者を通して注文した弁当の空き容器は指定した場所に時間内に返却してください。

(2) 部旗・応援旗の掲示は禁止します。

3. 練習会場について

(1) 当日試合者は、県立武道館柔道場と剣道場（20日は不可）をご利用ください。なお、ブロックごとに以下のように割り振っております。ご確認ください。

※女子団体においては、全ブロック柔道場をご利用ください。

※男子団体・女子個人・男子個人においては、北海道・東北・関東・北信越・東海・九州ブロックは柔道場、近畿・中国・四国ブロックは剣道場をご利用ください。

(2) 翌日試合者は、佐久市総合体育館大体育室をご利用ください。また、佐久市総合体育館大体育室は、19日の15:00～17:00、20日～22日の14:00～17:00、フリー練習会場として開場します。なお、フリー練習会場のご利用は、ID保持者に限ります。

(3) 練習会場へ入場する際は、選手・監督・コーチ・個人戦付添者は、大会実行委員会指定のIDが必要となります。

(4) 練習会場で練習できるのは選手と個人戦付添者のみです。中学生以外が柔道衣を着て練習相手になることはできません。

4. 更衣場所、荷物について

(1) 県立武道館、佐久市総合体育館とも1階、2階の更衣室で着替えをしてください。譲り合って使用してください。

(2) 大きな荷物は、主道場2階観覧席入り口に荷物預り所（クローク）を設置しますので監督・コーチがチームごとまとめて預けてください。なお、貴重品等の管理を確実に行うようお願いします。

5. 医療救護について

(1) 県立武道館の救護室に医師1名、看護師1名が常駐します。また、当日練習会場には柔道整復師1名、看護師1名、前日練習会場の佐久市総合体育館には柔道整復師1～2名、看護師2名が常

駐します。必要に応じてお声がけください。その場合は、監督の先生は同席をお願いします。

- (2) 宿舍等から医療機関を受診した際は、直ちに大会本部に報告するようにお願いします。

◇ 大会本部「第55回全国中学校柔道大会実行委員会本部」 連絡先 Tel 090-1045-3659 (委員長携帯)

- (3) 試合会場、練習会場で救急車の要請が必要となった場合は、大会本部に連絡してください。大会本部が救急車要請します。

6. 弁当の引き換えについて

- (1) 引き換え時間 11:00～13:00

- (2) 引き換え場所及び空き容器返却場所 県立武道館2階出入り口前 (KNTツアーデスク)

※空き容器は、15:00までにご返却ください。間に合わない場合はお持ち帰りください。

※食中毒の心配がありますので、受け取りに来られない弁当は14:00をもって廃棄させていただきます。

7. その他

- (1) 紅白紐は、大会実行委員会で準備しますが、各チーム、各個人で準備していただいても構いません。実行委員会が準備した紅白紐を使用した場合は、試合終了後、係員に返却をお願いします。

- (2) 交通アクセス、駐車場については、「第55回全国中学校柔道大会 参加にあたっての連絡とお願い」及び公式ホームページをご確認ください。なお、敷地内では徐行し、指定場所以外には駐車しないようお願いします。

- (3) プログラムの一般販売は、佐久市総合体育館前日受付及び県立武道館2階「総合案内所」で行います。

- (4) 県立武道館2階中央廊下に地元物産販売ブース、屋外の多目的広場に出店ブースがあります。

- (5) インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症に関する対応について

①各チーム及び各個人の責任において、うがい、手洗い、マスクの着用、アルコール消毒など予防に努めてください。

②引率・監督等の責任において、別紙（保健様式1）健康観察記録により、参加選手等の健康観察を行い、記録してください。

- (6) 県立武道館及び佐久市総合体育館には下足置き場がありません。各チーム及び各個人で下足入れ袋を用意してください。

- (7) 第1試合及び決勝戦の試合開始の合図は、照明を消して、大太鼓を打ち鳴らして行います。

- (8) 男子団体決勝戦前に、投の形の演武を行います。

式典係より

1. 開会式

- (1) 開会式への参加は、女子団体戦第2試合までの出場チームとなります。開会式参加チームの選手は、11:55までに選手招集所を通り、各試合会場のベンチに着席し、待機するようにお願いします。
- (2) 開会式終了後、各試合会場でウォーミングアップを行ってください。なお、ウォーミングアップ終了のアナウンスは、放送進行係が行います。

2. 敢闘賞及び5位の賞状授与について

団体戦において敢闘賞（ベスト16）、5位（ベスト8）、個人戦において5位（ベスト8）に入賞したチーム及び個人に、賞状が授与されます。放送進行係のアナウンス後にIDを持参し、主道場2階観覧席出入口前の2階総合案内所にお越しください。

3. 表彰式及びその後の動きについて

- (1) 表彰式に参加するチーム及び選手の参集範囲は以下の通りとします。
 - ①男女団体戦及び男女個人戦において、優勝、準優勝、3位（団体2チーム・個人2名）に入賞したチーム及び選手とする。
 - ②団体戦においては、男女ともに大会登録選手全員の参加とする。
 - ③男女個人戦においては、選手本人が参加する。都合により、代理人を立てる場合には、その旨を表彰式に参加する代理人が式典係に伝える。
- (2) 表彰式に参加するチーム及び選手の参集場所は、当日練習会場の柔道場です。
- (3) 準決勝以降は、表彰式に参加するため柔道場に待機してください。
- (4) 表彰式では、式典係の指示に従って、礼法や表彰物品の授与が行われます。
- (5) 表彰式の動きについて
 - ①表彰式終了後、入賞したチーム及び選手は、オフィシャルの写真撮影が行われます。また、男子個人選手については、閉会式終了後にオフィシャルの写真撮影が行われます。
 - ②写真撮影後、メダルケース・トロフィーの箱を忘れずにお持ち帰りください。
 - ③オフィシャルの写真撮影後、直接取材（報道：新聞社等）を第2・4試合会場付近で受けることがあります。
 - ④写真撮影は、オフィシャル→報道→一般（保護者等）の順で行います。時間に限りがありますので時間厳守でお願いします。なお、撮影時間はアナウンスに従ってください。

4. 閉会式

男子個人表彰式後に閉会式が行われます。入賞者全員参加してください。閉会式終了後、男子個人選手のオフィシャルの写真撮影が行われます。

令和6年度 全国中学校体育大会
第55回全国中学校柔道大会 開閉会式・表彰式詳細

【開会式】 8月20日(火) 12:00～ 場所：長野県立武道館 主道場

次第			予定時間		備考	
			時刻	所要		
柔道場での練習終了			11:30			
女子団体戦第1・第2試合の選手ベンチに着席			11:55	10		
1	開式通告	実行委員会	(アナウンス)	12:00	0	
2	開会宣言	大会委員長	神谷 兼正	12:01	1	
3	あいさつ	日本中学校体育連盟常務理事	後藤 建人	12:02	1.5	
		佐久市長	柳田 清二	12:03	1.5	
4	優勝旗返還		(アナウンス紹介)	12:04	2	
	優勝杯返還					
	バナー授与					
	レプリカ授与					
5	選手宣誓	男子選手代表	村田 准一	12:07	3	
		女子選手代表	武田 桃佳			
6	閉式通告	実行委員会	(アナウンス)	12:10	1	

※閉式通告の後、「会場使用についてのお願い」等の連絡を行う。(3分程度)

※女子団体戦は、12:30開始予定。

【女子団体戦 大会1日目表彰式】 8月20日(火) 17:15～

【男子団体戦 大会2日目表彰式】 8月21日(水) 16:45～

【女子個人戦 大会3日目表彰式】 8月22日(木) 17:30～

場所：長野県立武道館 主道場

次第			予定時間		備考	
			時刻	所要		
競技終了後、優勝、準優勝、第3位は選手待機場所(柔道場)に集合						
1	開式通告	実行委員会	(アナウンス)		1	
2	表彰式	実行委員会	(アナウンス)		10	
3	閉式通告	実行委員会	(アナウンス)		1	

【男子個人戦 大会4日目表彰式/閉会式】

8月23日(金) 17:30～ 場所：長野県立武道館 主道場

次第			予定時間		備考	
			時刻	所要		
1	開式通告	実行委員会	(アナウンス)	17:30	1	
2	表彰式	実行委員会	(アナウンス)	17:31	7	
3	あいさつ	日本中学校体育連盟常務理事	後藤 建人	17:38	3	
4	閉会宣言	大会委員長	神谷 兼正	17:41	3	
5	閉式通告	実行委員会	(アナウンス)	17:44	1	

第55回全国中学校柔道大会 参加にあたっての連絡とお願い

1 申し込みについて

- (1) 引率・監督は『大会参加申込要領』に従い、各提出書類・参加料等を都道府県委員長へ提出してください。
- (2) 宿泊・弁当申込につきましては、『大会参加申込要領』の『宿泊・弁当申込要項』に従い、申し込みをお願いします。不明な点は業者に直接お問い合わせください。
※指定宿泊業者以外の宿泊は認められません。

2 前日受付・計量・前日練習会場について

- (1) 前日受付は、佐久市総合体育館にて行います。混雑を避けるため、受付場所には、引率・監督（又はコーチ）のみでお願いします。受付の折にプログラムの代金引換も行います。
- (2) 選手（同一チーム内の翌日試合者以外の選手も含む）、引率・監督、コーチ、個人戦付添者の入退場は、2階になります。なお、都道府県関係者（保護者等）、見学者、協賛者は入場できません。
- (3) ブロックごとの割り当て時間内に公式計量・前日練習を行ってください。なお、公式計量会場、前日練習会場に入場する際には係員がIDの確認を行いますので、IDは首から下げて提示してください（同一チーム内の翌日試合者以外の選手は、2階観覧席まで入場できますが、1階には下りられません）。
- (4) 14:00～17:00（19日は15:00～17:00）は、フリーの練習会場として開場します（ID保有者に限ります。係員がIDの確認を行います）。この時間帯の入退場は、1階になります。

3 計量・柔道衣点検について

- (1) 公式計量の場所は、佐久市総合体育館小体育室です。ブロックごとに行います。
- (2) 指定された時間内において1回のみ公式計量を行います。
- (3) 佐久市総合体育館大体育室（前日練習会場）内に非公式計量用の体重計（公式計量と同じ体重計）を3台設置します。
- (4) 団体戦計量は、監督（コーチ）のサインが必要です。必ず、監督（コーチ）が立ち会ってください。
- (5) 個人戦計量の失格者については、本人のサインで処理します。監督は計量会場に入れません。
- (6) 別室計量を希望する場合は、体重計に乗る前に予め入り口係員に申し出てください。
- (7) 計量時の服装は、係員の指示に従ってください（「大会要項14 計量・柔道衣点検」参照）。
- (8) 柔道衣点検は、試合当日、待機席前にて係員が目視による点検及びIJFマークの確認を行います。なお、試合途中、審判により疑義が生じた場合は、各試合場において審判員が計量器を用いて検査します。規格不適合と判断された場合は、同チームの別の柔道衣（規格適合しているもの）に着替えて、試合を行うことができます。代替柔道衣がない場合は、相手選手の「棄権勝ち」となります。
※サポーターを着用し、試合を行う選手は、点検前に係員まで申し込んでください。

4 試合会場について

- (1) 試合会場は、長野県立武道館主道場です。選手（同一チーム内の当日試合者以外の選手も含む）、監督、コーチ、個人戦付添者、都道府県関係者の入退場は、2階になります。
- (2) 入退場については、QRコード認証で行います。IDのQRコードを認証システムに読み取らせてください（IDは、首から下げて提示してください）。「入場可」の反応があった場合のみ入場を認めます。なお、退場時もIDのQRコードを認証システムに読み取らせてください。読み取らせずに退場した場合は、再入場する際にエラーが発生します。ご承知ください。
- (3) 主道場2階観覧席は、ブロックごとに座席が指定されていますので指定された場所以外には立ち入らないでください。また、座席数に限りがあるため、場所取り等のご遠慮ください。

(4) 開場時刻～15:00まで入場制限を行います(15:00以降は入場制限を行いません)。なお、以下の場所や階段については、終日入場制限を行います。

	選手 監督・コーチ	同一チーム内の当日 試合者以外の選手	個人戦付添者	都道府県関係者 (保護者等)
試合会場	○	×	×	×
2階観覧席	○	○	○	○
階段(1階⇄2階)	○	×	○	×
当日練習会場	○	×	○	×

ア 選手(同一チーム内の当日試合者以外の選手も含む)・監督・コーチについて

- 選手IDのネクストラップは、女子団体(赤)、男子団体(青)、女子個人(橙)、男子個人(緑)で色分けします。館内の階段を使用する際に、係員がネクストラップの色で識別し、入場制限を行います(同一チーム内の当日試合者以外の選手は1階には下りられません)。
- 団体と個人の両方に出場する選手は、前日受付にて2種類のネクストラップを配付しますので、それぞれの日で付け替えてください。なお、監督・コーチIDのネクストラップは、黒一色なので、付け替える必要はありません。
- 試合会場への入場制限については、以下の通りです。

女子団体	試合前の3チームまで入場できます
男子団体	試合前の2チームまで入場できます
男女個人	試合前の6選手まで入場できます

イ 都道府県関係者(保護者等)について

- 入退場の際には、必要事項を記載した『都道府県関係者ID』のQRコードを認証システムに読み取らせてください(各自でネクストラップ付きのケースをご用意ください。なお、ネクストラップ付きケースは、会場で有料販売します)。
- 都道府県関係者(保護者等)は、1階には下りられません。
- 20日(女子団体)の9:30～11:00、21日(男子団体)、22日(女子個人)、23日(男子個人)の8:00～9:00の時間帯は、長野県立武道館2階入り口周辺は大変混雑することが予想されます。できる限り混雑緩和を図り、どのチーム・選手にも公平な試合前の練習時間が確保できるように、以下のように都道府県関係者の時間差での入場をお願いします

【都道府県関係者(保護者等)入場開始時間】
20日(女子団体) 11:00
21日(男子団体)・22日(女子個人)・23日(男子個人) 9:00

ウ 個人戦付添者について

- 入退場の際には、事前配付した『個人戦付添者ID』のQRコードを認証システムに読み取らせてください(各自でネクストラップ付きのケースをご用意ください)。
- 団体選手が個人戦付添者となる場合には、団体で使用したIDではなく、「個人戦付添者ID」を使用してください(団体IDでは1階に下りられません)。
- 練習会場において、監督・コーチなど中学生以外が柔道衣を着用し付添者として練習相手をする事は認めません。

(5) 当日試合者の練習会場は、柔道場と剣道場です。利用時間とブロックごとの割当は以下の通りです。

日(曜日)	利用時間	柔道場	剣道場
20日(火)	10:00～17:00	全ブロック	近畿・中国・四国
21日(水)	8:00～16:30	北海道・東北・関東	
22日(木) 23日(金)	8:00～17:30	北信越・東海・九州	

- (6) 防災上、通路に座っての観戦、荷物を置いて座席や通路を塞ぐことのないようにお願いします。なお、2階観覧席を座席として十分使用できるように、荷物預かり所（クローク）を観覧席出入り口付近に設置します（別紙「荷物預かり所（クローク）設置について」参照）。ご利用ください。また、外階段のスロープ入り口付近に、宅配業者ブースも出店予定ですので、大きな荷物は館内に持ち込まずに郵送をお勧めします。1階にも大会役員用の荷物預り所（クローク）を設置します。
- (7) 各試合場前の観客席の最前列シートは、現在試合を行っているチームまたは選手関係者の観覧シートとします。該当の試合が終了次第、速やかに移動し席を譲っていただくようご協力ください。
- (8) 会場内は、選手、監督・コーチ等の動線確保のため、右側一方通行にご協力ください。
- (9) 飲食は、2階観覧席または屋外でお願いします。
- (10) ごみは、必ずお持ち帰りください。
- (11) 指定旅行業者から購入した弁当の空き箱等は、2階ロビーにて回収します（当日 15:00 まで）。

6 開閉会式・表彰式について

- (1) 開閉会式の簡略化について
 - ①「開会宣言」「あいさつ」「選手宣誓」「表彰式」及び「閉会宣言」のみ実施します。
 - ②「優勝旗・優勝杯返還」「バナー・レプリカの授与」は行わず放送で紹介します。
 - ③開会式での選手整列は行いません（式典中は静粛にし、館内放送を聞いてください）。
 - ④開会式への参加は、女子団体戦第2試合までの出場チームとなります。参加チームの選手は、11:55までに、各試合場の待機席に待機してください。12:00より開会式を開始します。
 - ⑤開会式終了後、12:25までは試合場を利用しての練習を認めます。但し、開会式の時間により、練習時間を確保できない場合がありますので、ご承知ください。
 - ⑥閉会式は、男子個人戦表彰式後に実施します。閉会式への参加は、男子個人戦表彰式の受賞選手となりますので、ご承知ください。
- (2) 表彰式の簡略化について
 - ①団体戦：優勝、準優勝、第3位のみ表彰。第5位及び敢闘賞は放送にて紹介します。
 - ②個人戦：優勝、準優勝、第3位のみ表彰。第5位は放送にて紹介します。
 - ③団体戦優勝チーム、個人戦優勝者のみ賞状を読み上げ、賞状、メダル等の授与を行います。
 - ④第5位及び敢闘賞の賞状は、2階総合案内所にて実行委員会から監督または選手に渡します。
 - ⑤表彰式は、決勝戦終了後直ちに実施します。表彰されるチーム、選手のみなさんは速やかに受賞者待機場所（柔道場）に集合してください。

7 医療救護について

- (1) 「健康保険証」をご持参ください。
- (2) 怪我をした場合、応急処置を行いますが、必要に応じて医療機関に移送します。その際、当該チームの関係者または保護者が同行してください。医療費は受療者負担となります。

8 会場内の駐車場及び会場までのアクセスについて

- (1) 長野県立武道館と佐久市総合体育館の駐車場は、駐車券を持たない方の駐車はできません。駐車券を持たない方は臨時駐車場に駐車してください（別紙「会場周辺駐車場案内図」または、駐車券にあるQRコード参照）。ご理解とご協力をお願いいたします。
- (2) 長野県立武道館と佐久市総合体育館の駐車場が満車になった場合は、駐車券を持っていても臨時駐車場に駐車していただくこととなります。ご了承ください。
- (3) 長野県立武道館2階観覧席は、15:00以降、入場制限を行いません。それに併せて、14:30以降、長野県立武道館の駐車場は、駐車券を持たない方も駐車可とします（但し、コーンで仕切られた駐車スペースは駐車不可です）。

- (4) 駐車場内は徐行運転をお願いします。
- (5) 長野県立武道館、佐久市総合体育館までのアクセスに関しては、別紙「道路案内図」の内容を参考にしてください。

9 その他

- (1) 参加者及び関係者は、必ず都道府県委員長からの連絡事項を確認してください。
- (2) 災害時の緊急避難については、会場職員、競技役員の指示に従ってください。
- (3) 大会会場での部旗・応援旗等の掲示は禁止します。
- (4) 貴重品の管理は各自の責任で行ってください。
- (5) 開場時刻より大幅に早く並ぶことはご遠慮ください。各都道府県・各チームで周知徹底していただきますようお願いします。
- (6) 監督会議への参加は、各都道府県より代表監督1名とします。
- (7) インフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応については、令和6年3月31日付けで日本中学校体育連盟から出されている「令和6年度全国中学校体育大会実施上のインフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応について」をご確認ください。
- (8) 本大会に関する様々な連絡・情報は、大会HPに掲載します。随時、ご確認ください。
- (9) 全柔連TVにて大会期間中の試合をライブ配信します。また、大会終了後にアーカイブ配信も行います。個人情報の取り扱いに関しては『大会参加申込要領』の「個人情報及び著作権に関わる取り扱いについて」をご確認ください。
- (10) 紅白帯は、実行委員会にて用意します（各チームで用意していただいても構いません）。
- (11) 長野県立武道館・佐久市総合体育館は土足厳禁となっております。下足入れ袋と上履き等をご準備ください。よろしくお願いいたします。

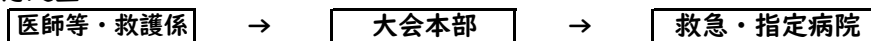
医療・救護要項

1 目的 令和6年度全国中学校体育大会 第55回全国中学校柔道大会（以下「大会」という）に参加する選手・監督・コーチ・役員（審判）・生徒役員・都道府県関係者等の大会関係者、出店業者・報道関係者等の来場者に対する安全確保と、医療救護の万全を期するために、競技会場に救護室を設置し、医療関係者との連携を図ることを目的とする。

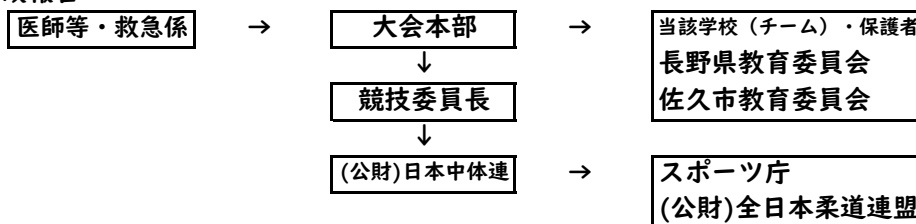
- 2 競技会場
- ①救護室の役割
 - ・ 救護室では、応急処置および軽易な治療を行うものとし、必要に応じて医療機関に患者を移送する。
 - ②救護者の設置
 - ・ 救護者の構成は、医師・柔道整復師・看護師・係員（競技本部兼務）とする。
 - ・ 試合会場には医師・柔道整復師・看護師・係員（競技本部兼務）、練習会場には柔道整復師を配置する。
 - ③救護室の設置場所
 - ・ 長野県立武道館主道場1Fの救護室を救護室とする
 - ④救護室の開設時間
 - ・ 8月20日（火）～23日（金）
 - 競技開始30分前から競技終了30分後までを原則とし、必要に応じて開設時間を延長する。
 - ⑤救急医療機関（病院名 住所 電話）
 - ・ 救護関係一覧を参照

3 患者発生時の対応 事故が発生した場合は、速やかにその状況を各関係者（主催団体・責任者・保護者）に報告し、早急な連絡を取ることにする。

① 緊急処置



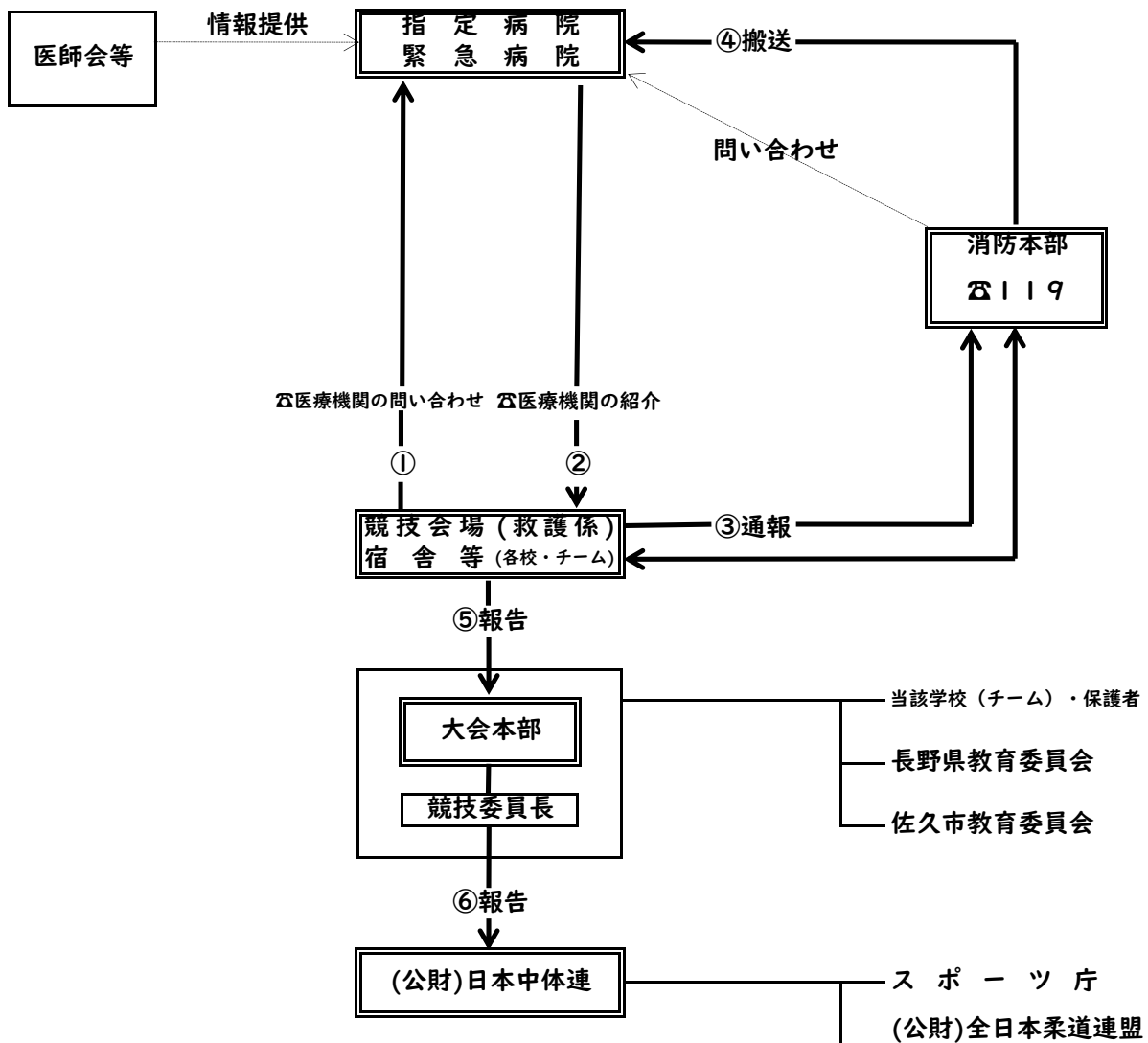
② 事故報告



事故にあたっては、次のように適切かつ迅速に対応するとともに、報告・報道の窓口をひとつにして対応する。また、事故発生に係わる正確な報告書(救護・様式-4)を作成する。

- ① 会場で発生した場合
 - ・ 会場の救護室での対応をする。
 - ・ 会場の救護室で対応できないと判断した場合は、指定病院・救急病院へ移送する。
- ② 宿舎で発生した場合
 - ・ 宿舎で医療機関の紹介または救急車を呼び対応する。
- ③ 移動中に発生した場合
 - ・ 各校で症状に応じて、指定病院・救急病院に連絡または救急車を呼び対応する。
- ④ ②③のうち、医療機関に移送する場合は、各学校（チーム）の関係者が同行し、各学校（チーム）の責任において移送するとともに、状況を速やかに大会本部に連絡する。

【医療救護体制図】



4 医療機関

①受診の方法

- ・ 応急処置後に医療機関に移送する場合は、医師又はその他の者が発行する「受診依頼書」(救護・様式-3)を発行し、患者に交付する。なお日本スポーツ振興センター加入の中学生には、「医療の状況」も一緒に交付する。
- ・ 患者は医療機関で受診の際、受診依頼書を提出し、大会参加者であることを明らかにするとともに保険証を提示する。

②医療費の負担

- ・ 実行委員会が負担する医療に要する経費は、応急処置および軽易な治療に要した経費とし、その他の医療費については受療者が負担する。

5 事務処理

次の様式により業務を記録し、当日の業務終了後、総務部長に提出する。

- ・ 救護台帳 (救護・様式1) 患者を受け付けたときに記入する。
- ・ 救護日誌 (救護・様式2) 当日の業務を記録する。
- ・ 受診依頼書 (救護・様式3) 医療機関へ移送する場合に記録する。
- ・ 事故報告書 (救護・様式4) 医師等の指示による処置を記録する。
- ・ 取扱患者一覧表 (救護・様式5) 当日に取り扱った患者を集計する。

6 救護者配置計画

試合会場：医師2名、柔道整復師1名
 練習会場：長野県立武道館 柔道整復師1名 看護師1名
 佐久市総合体育館 柔道整復師1名 看護師2名
 救護室：医師1名 看護師1名

受 診 依 頼 書

医療機関

様

令和6年度全国中学校体育大会
第55回全国中学校柔道大会
実行委員会委員長 北垣内 博

下記の者に対する診療をお願い致します。

記

救護所名			
受付時間	令和 年 月 日 () 午前・午後 時 分頃		
競技名	柔 道	区分	選手・監督・役員・生徒役員 その他 ()
氏名	(男・女)		年齢 歳
住所	Tel () -		
保険証の所持	(有 ・ 無)		
(症状及び訴え等)			
記入者名			

※ 受診依頼書は、必要事項を記入した後、必ず控え(コピー)をとり総務部に保管する。

※ 受診依頼書は、事前に医療機関へFAXで送付しておいて下さい。

令和6年度全国中学校体育大会
 第55回全国中学校柔道大会
 実行委員会委員長 北垣内 博

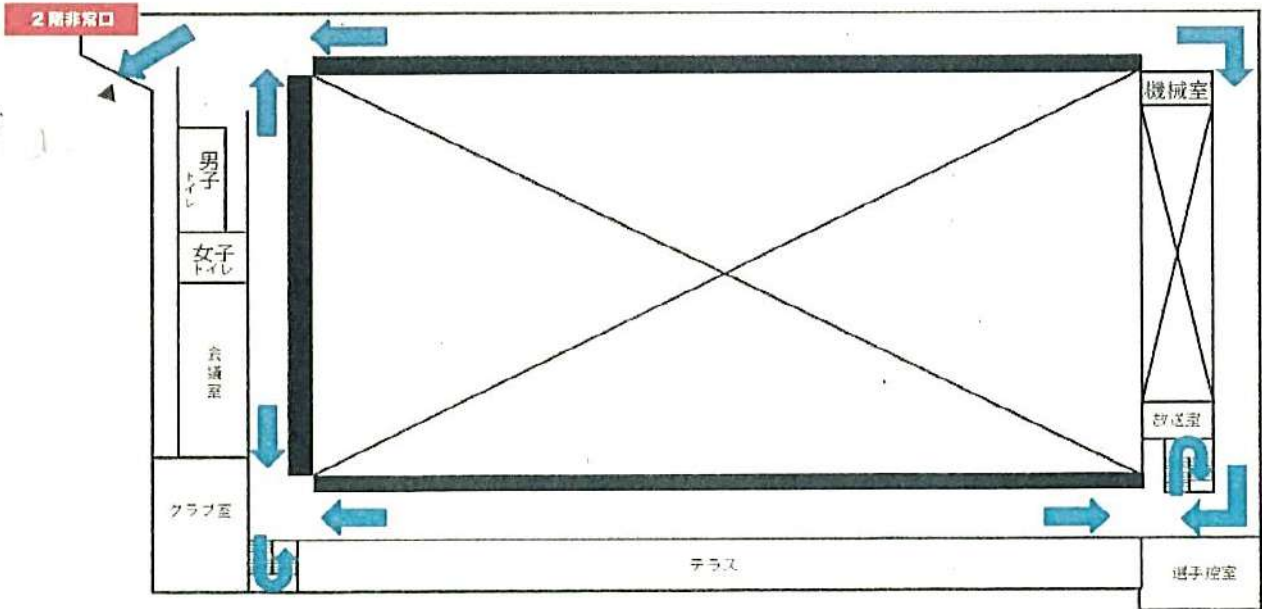
事故報告書

このことについて、下記により報告いたします。

大会名等	令和6年度全国中学校体育大会 第55回全国中学校柔道大会		
日時	令和 年 月 日 () 午前・午後 時 分		
場所		所属名	
ふりがな 生徒名	(男・女)	保護者名	
		連絡先TEL	
生徒住所			
競技名	柔道	区分	選手・監督・役員・生徒役員 その他 ()
事故等の概要・怪我の程度・対応等			
記載責任者役職・氏名 (.)			

佐久市総合体育館

2階



1階

